

初級ヌーソロジー講座(全6回)

物質と精神を統合するアイデア論「ヌーソロジー」の初心者向け解説

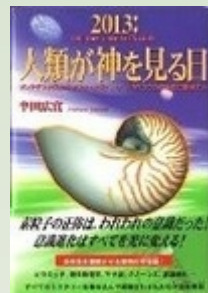
※2014年6月28日(土)第1回スタート 以降11月まで毎月第4土曜日実施予定
講座 13:30~16:30(13:00開場) 会場 サラ・シャンティ 参加費3000円(当日3500円)

◆ヌーソロジーとは・・・半田広宣氏の提唱する宇宙論。

2013年、人類が神を見る日、到来。

今から17年前、一冊の本が世に出た。タイトルは「2013:人類が神を見る日」。

「2013」という数字を初めて世に問うた書籍。著者の名は半田広宣、福岡市在住、現在57歳。ごく普通の人である。でもただ一つ違っていたのは、普通の人には滅多に起きない事が彼の身に起きてしまう・・・1989年11月未明、「冥王星のオコット」という意識体からのアクセスを受けてしまったのである・・・いわゆるチャネリング現象である。



「2013」を一貫して主張してきた半田広宣氏。

半田氏の書籍は先の「2013:人類が神を見る日」(1997年)の後、「2013:シリウス革命」(1999年)、「光の箱舟-2013:超時空への旅」(2001年)、とつづく。一貫して書籍のタイトルに「2013」が付いてきた。そう、半田氏は「2013」を初めて世に問うた人物であり、**17年間一貫して「2013」とそれ以降到来する世界を主張してきた一。**



半田広宣氏

2012年冬至の日をもって人類の6500年歴史は終焉、2013年より「覚醒期」に突入——

「2013」の前に「2012/12/21」マヤ暦の終わりがあった。巷ではこちらの方が話題になり、世の終わりや天変地異など、多くの終末論が展開され、スピリチュアルに関心のある人もない人も、これらの情報の影響を受けた。数多くのセミナーやツアーが展開され、ビジネスにもなった。だが半田氏はこれらスピリチュアルブームとは一線を画し、黙々と「2013以降」の為に準備をしてきた。人類の6500年歴史は2012年冬至をもって終焉し、2013年から新たな6500年「覚醒期」が始まることを知って。

2013年を越えて2014年。ヌーソロジーにとってはこれからが本番なのです。

◆難解な「ヌーソロジー」を川瀬統心が最初から分かりやすく解説します。

半田広宣氏がチャネリング情報を元に構築した宇宙論「ヌーソロジー」は難解な事で知られています。その「ヌーソロジー」を初めての人でも分かりやすく解説するのは、関西ヌーソロジー研究会を主宰する川瀬統心氏。

川瀬統心

かわせ とうしん



内在研究者。1969年京都市生まれ。京都大学農学部卒。関西ヌーソロジー研究会代表。幼少の頃より生きていること、死後の世界、宇宙の果てなどについて悩み考え続けてきた。10代から20代半ばまでクリスチャンとしての信仰生活に献身し、その道を究めようとしたが「内在の可能性」への探求心を押さえきれず、インド教、仏教を始めとする東洋思想の研究へとシフト、同時にクリスチャン生活から身を引く。二元性の統合、個と全体の統合について関心があり、その軸にそって思考を続け、内在の神秘に触れることも多々あったが整合性のある理論を構築する事にこだわりつづけて気づくと30代半ばとなっていた。その頃インターネット全盛時代に突入、ネットサーフィンをしながら内外のあらゆる真実・最先端の情報をキャッチしていく中で、今までの研究内容が飛躍的に統合されていった。しかしあともう一步、最後の「決め手」が見つからない。だがそれは突然やってきた。2009年1月、半田広宣氏の著作「2013:人類が神を見る日」と出会う。以来、半田氏のいる福岡に毎月通い、徹底してヌーソロジーを学んでいった。全てのパズルのピースがそろった。2012年より研究の成果を実証するべく「関西ヌーソロジー研究会」を立ち上げ、現在は毎月大阪・京都・神戸にてヌーソロジー教室を開催している。ブログ「自分教ガイド」執筆中。

初級ヌーソロジー講座 全6回シリーズ 2014年6月~11月までの毎月第4土曜日に開催
講座 13:30~16:30 開場 13:00 質疑応答 16:30~17:00 講座修了後は懇親会あり